

松林地区まちぢから協議会防災部会 令和5年度第9回部会 議事録

1. 開催日時：2024年（令和6年）3月21日（木） 19時～20時30分

2. 開催場所：松林公民館 2階第2会議室

3. 出席者（敬称略）：13名+市防災対策課2名

吉原、池田（高田）、高橋（室田）、齋藤・宮本（ニュータウン）、小川（上赤）、川口（中赤）、渡辺・小池（下赤）、今井（菱沼）、小野・村松（オクトス）、阿部（ショクサン）、渡部・山ノ上（防災対策課）、以上15名

4. 内容

1) 吉原部会長挨拶

本日は昨年11月に防災訓練の反省をお聞きしましたので、新年度の要望などを伺って来年度の防災訓練に活かしていきたい。4月にも改めてお聞きします。

2) 防災対策課より能登半島地震被災地支援の報告（2月中旬頃 石川県志賀町）

（渡部さん）

主に避難所の運営支援をしてきた。避難された方々からの要望を聞き改善対応などした。避難されてる方々は食事掃除など皆で協力し合っていた。避難所での生活は単調で季節感が無くコミュニケーションが大事と感じた。ひな祭りが近かったので皆さんと一緒に折り紙を作り避難所内に装飾して気持ちの上でも明るくできたと思う。地域の中に複数の自治会があったが長く居住されて顔見知りの方々ばかりで垣根無く皆さんで避難所を運営していたので団結力を強く感じた。避難所は学校等ではなく原発に関わる防災施設で毛布や食料など物資が備蓄されていた。

（山ノ上さん）

給水の手伝いや家屋補修のブルーシートや土嚢袋の配布などを担当。発災から90日経過していたので電気はすでに復旧していたが水は不通だった。水の重要性を特に感じた。茅ヶ崎市は志賀町より人口が多いので備えは大事。改めて防災計画などを見直す事が必要だと感じた。

3) 防災訓練の今後について

場所は室田小学校で確定。開催日は次回の会合（4/25）に決め4/30までに防災対策課へ報告する。

訓練内容については事務局でいくつかの選択肢を挙げて次回開催時に決を採る方法にする。

a) 地区防災訓練について（要望など）

・冒頭に話して頂いた能登半島地震被災地支援の話しを訓練時に話してほしい。（写真あると尚良い）

その他の意見要望は以下の通り

・訓練の開催地域を学区毎にできないか。実際に避難する場合は近隣の学校になるので学区や学校単位で訓練が出来ると良い。避難所を運営する事を考えても訓練を近隣の学校で実施できると良い。

・地区防災訓練で受けた訓練内容を自主防災訓練で活かす事ができて住民から好評だった。

・防災訓練で地区を跨いだ防災リーダー同士の交流を行い横連携強化が出来たら良いと思う。

・広域避難場所（ゴルフ場など）で訓練できないかと意見あったが、民間施設でもあり、余程の被害状況にならないと開設されないのでは訓練には向かないと思われる。

b) 安否確認訓練の実施について

・地区防災訓練の開催日と同時には行わず、昨年同様各々の自治会で実施した方が良い。

・地区防災訓練当日の参加者名簿の提出を安否確認訓練と捉えても良いと思う。

5. その他

1) 令和6年度部会・ロールコール名簿提出と時間

新年度にあたり部会員、無線連絡担当者に変更があった場合は随時提出してください。（フォーム問わず）

ロールコール開催時間（日曜 21 時）の変更意見あり。改めて皆の意見を聞き取り検討する。

2) その他

- ・横連携・情報共有の一つとして各々の自治会の防災マニュアルを見せ合う。
- ・自主防災訓練を他の自治会防災リーダーが見学する。
- ・防災行政無線で防災訓練開催の告知が出来ないかと意見があったが、警察消防保健所以外の放送は不可能。
- ・地域の消防団に依頼し消防車で開催案内をする自治会もあるので参考にしてみようか。
- ・開催自治会だけでなく市民全員の防災意識高揚に繋がると思うので防災行政無線で放送できると良い。

次回の部会で地区防災訓練の日時を決定する。

次回 令和 6 年 4 月 25 日（木）19 時～ 松林公民館 第 2 会議室

書記：宮本